



チャレンジ! 滝根っ子

令和7年4月28日 発行
通巻 第98号
田村市立滝根小学校
発行責任者: 鈴木 敏夫



🌸 ピカピカの22名~令和7年度入学式~ 🌸

令和7年4月7日(月)、田村市教育委員会教育委員様をはじめ、在校生、ご来賓の皆様、保護者様に見守っていただきながら、22名の入学生を迎えることができました。新入生は、この日を心待ちにしていたようで、キラキラと目を輝かせていました。

5月の主な行事予定



- 2日(水) ダンス教室①
- 3日(土)(祝) 憲法記念日
- 4日(日)(祝) みどりの日
- 5日(月)(祝) こどもの日
- 6日(火) 振替休日
- 7日(水) 1年清掃開始/諸経費振替日①
- 8日(木) 運動会全体練習①
- 7日(水) ダンス教室②
- 10日(土) たむらチャレンジ塾①
- 12日(月) 運動会全体練習②
- 13日(火) 運動会全体練習③/全学年眼科検診
- 15日(水) ダンス教室③
- 17日(土) 運動会
- 18日(日) 運動会予備日①

- 19日(月) 運動会繰替休業日(ただし、17日・18日ともに運動会実施しなかった場合は、授業日となり、弁当持参)
- 20日(火) 2・4・6年歯科検診
- 21日(水) 1・3・5年歯科検診/職員による読み聞かせ/2年町探検(学区内)
- 22日(木) 滝根小中学校学校運営協議会①
- 23日(金) 5年校外学習(入水天然水)
- 24日(土) 運動会予備日②
- 26日(月) 運動会予備日②の繰替休業日 弁当持参(授業日の場合)
- 27日(火) 6年滝根中学校見学
- 30日(金) 1年校外学習(石筵牧場)
- 31日(土) たむらチャレンジ塾②



自分の身は自分で守る学習～交通教室・幼小合同避難訓練～

災害や事故などの危険から自分を守る学習として、年度初めに、交通教室と避難訓練を行いました。交通教室では、通学班会で各班ごとに登下校の並び方や危険個所を確認した後に、実際に歩行やスクールバスでの下校を行いました。

幼小合同避難訓練では、地震から火災になったという想定で、避難経路と安全な避難の仕方の確認を行い、田村消防署からご指導をいただきました。

いつどこで災害が起こるかわかりません。正しい情報をもとに、適切な判断をして自分の身を守ることができるようになってほしいと思います。

【交通教室】



【避難訓練】



令和7年度 職員紹介

令和7年度、7名の転入者を迎え、チーム滝根スタッフ21名でのスタートとなりました。子どもたちのキラキラと輝く瞳がたくさん見られるような教育を進めてまいりたいと思います。どうぞ、よろしくお願いします。

校 長	鈴木 敏夫(船引南小より)
教 頭	松山 悟
教務主任	佐藤 勝一
1 年	草野かおる
2 年	富塚 彩友(本宮まゆみ小より)
3 年	福田 智里(小野小より)
4 年	猪狩 知己
5 年	熊谷このみ
6 年	陸 広明
りんどう1	真城 順子
養護教諭	小川佐稚子
主 査	小川 文江(都路小より)

支 援 員	白岩 聖枝
支 援 員	宗像 美恵(船引南小より)
S S S	坪井真由美
用 務 員	佐藤 久子
用 務 員	渡辺 和子(新規)
ALT	ダニエル・ジン・ユー(新規)
スクールカ	
ウンセラー	赤井 順子
育 休	鹿股 千春
育 休	鈴木 莉子



〈つぶやき〉新しいのノートを使い始めるときは、気持ちが一変し、「きれいにつかうぞ。」「ていねいに書くぞ。」「最後まで使い切るぞ。」などと思うことがあります。新年度も似ていて、「今年は昨年よりも頑張るぞ。」「今年こそは〇〇しよう。」などと思いを新たにしてスタートする子どもたちも多いのではないかと思います。しかし、授業が始まって1か月ほど過ると、緊張や頑張りの疲れが出てきて、朝、起きられなくなったり不調を訴えたりすることがあります。よくあるのは、月曜日の朝や休み明けの朝にぐずってしまうなどです。前日の夜には、翌日の登校に向けて準備していたにもかかわらず、当日の朝、ぐずってしまうことがあります。こんなとき、どのような対応をするでしょうか。「行きたくないなら行かなくていいよ、と言って休ませる。」「今日は休んでもいいけど、明日は必ず行くだよ、と約束し休ませる。」「気分がよくなるのを待って、遅れて登校させる。」「泣いても、強引に連れていく。」など。どれが正しいかは一概には言えませんが、このようなお子さんに共通して言えるのは「心のエネルギー」が足りなくなっていることが考えられます。本人は、学校へ行かなくてはならない、行こうと思っているのですが、「心のエネルギー」が足りなくて、体が動かない状況になっていることです。夕食やお風呂の時間などのわずかな時間でもお子さんの話を聞いたり、休みの日に一緒に運動したりなどして「心のエネルギー」を充電することは大切なと思っています。